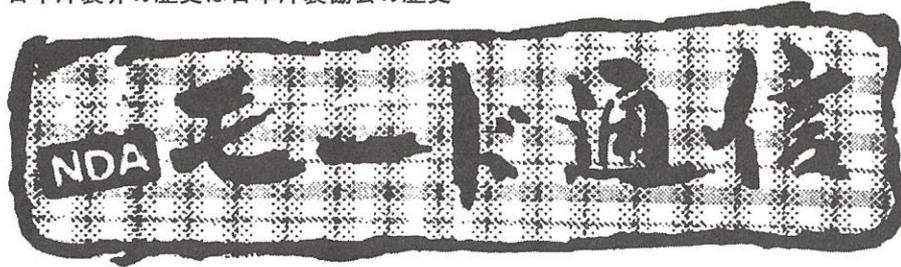


日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会

事務局 〒113-0034

東京都文京区湯島4-8-3-307

TEL (03)3814-7023

FAX (03)3814-7023

発行人 伊賀 玲子

編集人 三銘イツ子

年3回発行 リビ 裕子

令和元年 第64回 通常総会開催

日時 五月十九日(日)
場所 中野サンプラザ

五月一日より新元号が「令和」となり新しい年が明けました。

一般社団法人日本洋装協会第64回通常総会が中野サンプラザで執り行われしました。

伊賀玲子副理事長の司会により定刻開会し内野会長を議長に選任して、議事の審議に進みました。

第一号議案 平成30年度事業経過報告
の件

第二号議案 平成30年度収支決算報告
承認の件

第三号議案 平成31年度・令和元年度
事業計画案の件

第四号議案 平成31年度・令和元年度
収支予算案承認の件

第五号議案 役員改選案承認の件
審議の結果全ての議案が審議され可決
されました。

今年役員改選の年に当たり、去る四月十二日の理事会において選考された次期役員候補者が満場一致で承認されました。新理事2名が加わり、副会長に稲荷田征氏が、新顧問には白瀬一朗氏が就任いたしました。

理事長・会長を長きにわたり歴任された内野靖子氏が勇退され、相談役としてこれからも協会を導いて頂く事となりました。

又、8人の理事が退任し大日向氏が参与に菅野タカ子氏、浅香とめ子氏、牧野能子氏、石川宮子氏の4人が退会され名誉会員に移行されました。
広島、神奈川地区は解散になりました。総会の終了後、賛助会員の皆様と共にクレセントの間に席を移し、遠方より出席された皆さんのお話をうかがったり楽しく交流をはかる事が出来ました。
令和元年度のスタートです。



2019 全日本洋装技能 コンクール作品募集

主催 (一社) 日本洋装協会

共催 (公社) 全日本洋装技能協会
(二社) 全国技能士会連合会

審査会 令和元年10月6日(日)

発表会 中野サンプラザ

令和元年11月8日(金)

有楽町朝日ホール

内閣総理大臣賞

参議院議長賞

厚生労働大臣賞

経済産業大臣賞

文化服装学院長賞

ドレスメーカー学院長賞

他多数

出品区分 フォーマル部門(A部門)
カジュアル部門(B部門)

応募条件 未発表の作品

申込締切 令和元年9月20日

出品受付 令和元年10月1〜2日

審査員 関係官庁 服飾学院
関係団体 出版関係

出品料 一点につき

◎会員・生徒 A部門 18,000円
B部門 16,000円

◎一般 A部門 22,000円
B部門 20,000円

◎30歳以下 両部門共 13,000円

出品希望の方には規程用紙・詳細を送ります。自分の可能性にチャレンジしてみませんか。

【問い合わせ先】

(一社) 日本洋装協会事務局

TEL 03(3814)7023

令和元年度（一社）日本洋装協会新役員

- 名誉会長 山東 昭子
- 会長 中田 眞理
- 副会長 須永 正江
- 〃 太田さい子
- 〃 稲荷田 征
- 〃 千葉県支部長 伊賀 玲子
- 理事長・総務部長 廣谷きくゑ
- 副理事長 佐藤 順子
- 常務理事 会計部長 三鈴イツ子
- 〃 広報部長 日比 和子
- 〃 教育部長 日本洋裁技能士会副会長 白井富美子
- 〃 検定部長 厚生部長 合田 睦子
- 〃 日本洋裁技能士会会長 小幡 明子
- 〃 全技連マイスター会担当部長 富澤三喜子
- 〃 宮城県支部長 扇畑 秀美
- 〃 福岡県支部長 石井 幸子
- 理事 愛知地区代表 吉田 彌榮
- 常務理事 石川地区代表 酒井 啓子
- 理事 東北地区代表・検定副部長 高野 秋子
- 〃 大分地区代表・検定副部長 石田きよみ
- 〃 山口地区代表・厚生部副部長 井上 栄子

- 理事 広報副部長 リビ 裕子
- 〃 教育副部長 黒澤 旬子
- 〃 教育副部長 中西 真波
- 〃 監事 内野 靖子
- 〃 田中 幸子
- 〃 保坂 三蔵
- 〃 白瀬 一郎
- 〃 山本やい子
- 〃 千田 芳江
- 〃 内野 靖子
- 〃 高橋 昌子
- 〃 東司フサエ
- 〃 原田 敏子
- 〃 大日向敬子
- 顧問 顧問 白瀬 一郎
- 相談役 相談役
- 参与

新役員の抱負

教育部副部長 中西真波

協会に入り、勉強させて頂くばかりですが、先生方の素晴らしい技術を伝えていきたい、と思っております。光栄なお役目、頑張っております。



顧問をお受けして
（一社）日本洋装協会の
次世代への振興を願う

顧問 白瀬 一郎

私が洋装協会を知ったのは労働省の委託事業「アパレル産業の技能振興」の冊子編集で山本やい子先生と出会った時からです。山本先生のもとに千田、内野、中田の諸先生と業界を通じ現在まで繋がってきました。周年記念誌の編集の中で当協会の伝統の重圧を認識します。組織運営に会員各位が一丸となり、奉仕の精神で事業実施を担う力には開眼いたしました。

各々の技能技術の向上は少量多種の特質ある製品を産み出す源泉です。顧問の依頼は内野会長の再三の要請で重い腰を上げました。健全経営の洋装協会には顧問の役割は無い筈です。衣服に携わる一人として「服装は自由に表現できる固有の文化である」ことを信条に微力な努力を努めます。

主経歴 全日本東京洋服商工協同組合理事長、厚生労働省技能者表彰審査委員（部門別）、中央技能委員、職業能力開発専門調査員 などを歴任



会長就任の挨拶

会長 中田 眞理

この度、第六十四回通常総会の役員改選に於きまして、内野会長が勇退され、後任に不肖私がその重責を担うことになりました。まだ力不足ではございますが大役を務めさせて頂きます。

技能検定競技員・技能五輪競技員・中央検定委員など検定に係る委員を関係官庁より受託しており、なお一層の信頼ある団体として、会員一人一人の自覚と行動が求められます。

当協会は皆様ご存知のように、昭和22年に設立され本年度で創立72年になる伝統ある団体で、服装文化の発展に寄与しております。

これまで行ってきたセミナーや検定予備研修などの成果が毎年顕著に出てきており、担当者の努力と研究心には頭が下がる思いです。

本年も研修会・コンクールなど諸行事が計画されており、支部・地区においても、それぞれの諸行事が計画されております。執行部の団結と会員の皆様のご協力です。執行部の団結と会員の皆様のご協力で滞りなく遂行してまいります。また、

それぞれの立場で、それぞれの力を十分に発揮して伝統ある協会の発展のため、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



理事長に就任して

理事長 伊賀 玲子

この度、第64回通常総会の役員改選により理事長職をお受けする事になりました。まだまだ力不足の私でございますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら大役を努めさせていただきます。

当協会のクチュールコレクションも、今年で第5回となり、とても華やかで盛大に終える事ができました。会員の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

前任の会長、理事長のご協力によりとても力強い協会となつてまいりました。新会長と共に新体制による活動がスタート



退任にあたりご挨拶

相談役 内野 靖子

令和元年の幕開けと共に今年度の事業が草月の五月にスタート出来ましたことをお慶び申し上げます。

社団法人の理事長をお受けしてから十二年。大変長い間、皆様のお力添えを頂き役職を務めることが出来ましたことに心から感謝申し上げます。

特に八年前からは会長として理事長と共に活動をして参りました。現在特に思い出されることは、会独自事業のクチュールコレクションを第五回まで続けられ大変好評を得ていることと、福島九州や金沢の旅、匠の技の祭典など走馬燈のように思い出されます。また、会の

トいたしました2019年全日本洋装技術コンクールにおける関係官庁への申請書提出に始まり諸行事が次々と計画されており、執行部の団結と会員様の協力でも滞りなく遂行していく所存です。

この伝統ある洋装協会の益々の発展の為、会員数を増やし若い風を入れ、学べる環境を充実させて魅力ある会にしていきたいと思ひます。

微力ではございますが精一杯努力する所存でございますのでご支援宜しくお願い致します。

功績といたしましては、会員の皆様が現代の名工・黄綬褒章を始め様々な賞を受賞されたこと、コンクールに於いて当協会の入賞者が多かったことではないでしょうか。

このように会員の皆様がお賞や入賞をされますと会活動も円滑になるように思ひます。そしてこれからは、昭和から引き継いだ文化・伝統・技術を柔軟に対応させつつ、若い人に継承していくことが大切ではないかと思ひます。

最後になりましたが会の発展と会員のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2019 初春のセミナー

高野慎一郎先生、松原初太郎先生の毛皮の扱い方

佐藤 順子(東京都)

平成最後の二月十一日日本毛皮協会から二名の講師をお迎えし毛皮の講習会が開催されました。

会場にはJFAファーデザインコンテストの作品が展示されました。

毛皮は養殖種や野生種の毛皮動物がほとんどで、最も身近なのはミンクやフォックスの毛皮だそうです。毛皮が作品になるまでの工程をスライドで紹介して頂き、洗い、染色、縫製などを見せて頂き、一枚の作品になるまでのお話を聞きました。

毛皮製品に使われる動物は生命あるものを犠牲にしている点を忘れないで、霊を慰め冥福を祈願する慰霊祭を毎年一回行われているとの事です。

ふわふわとした毛皮の感触はやさしい温もりと共に心を和ませる効果があるといわれます。最近では衣服ばかりではなくアクセサリー、バックやインテリア等の活用も多様化しているのが、実感できます。



後半は、毛皮専用の針を使い、ミンクの毛皮でボンボン作りをしました。

東技連異業種交流研修旅行に参加して

日本洋裁技能士会会長 小幡 明子

三月十日(日)春の海の熱海はお花が真つ盛り、海はキラキラと美しく私達を迎えてくれました。

参加者は内野会長はじめ中田、廣谷小幡、白井の五名でした。

二時から行われた一部の講演は(一社)東技連会会長 大関東支夫氏の挨拶から始まり、昨年八月に開かれた匠の技の祭典の開催結果と今後の方針についてでした。その後意見交換でのフリートークキングがおこなわれました。

二部に行われる「いかにして愛知は日本一のものづくり県になったか」の講演は講師の方の都合により中止となり、その代わりに、観光地熱海の人気が最近復活して、盛り上がりを見せている事について、復活にかける努力と現在の熱海についてお話がありました。

六時から和室(春日)の宴会場での交流会は日本調理の川口氏監修の芸術的な料理を頂きながら、異業種の方々の会話やカラオケ等で交流を深める事が出来ました。



翌日は熱海観光となり海を眺めながらの散策、来宮神社では、樹齢二千年のくすの木に圧巻される二千年の歴史を感じる幹に触れ天と地のパワーを頂いて来ました。

第五回クチュールコレクション開催

会場 中野サンプラザ

実行委員 伊賀 玲子



平成31年4月20日、中野サンプラザコスモの間に於いて、第五回NDAクチュールコレクションが開催されました。第一部は認定校の自作自演のファッションショー、百二十名余りの生徒が教室の紹介、ナレーションと共に、スポットライトを浴びて華やかにウォーキングです。

りの楽しさ、奥深さを伝承し、業界の活性化につなげようとするものです。会員の皆様一人一人のお力添えにより開催されるクチュールコレクション。ご協力くださいました関係者の方々に御礼申し上げます。

一部のショーでは審査員に審査を頂き、デザイン賞、エレガント賞、未来の巨匠賞、ビュートー賞、着て見たい賞が選ばれ協賛企業から副賞品を頂き賞状と共に受賞者に贈られました。

第二部ではプロモデル着装による会員の優秀作品ファッションショー、46点を披露いたしました。そして紳士服の協賛作品6点も華を添えて下さり充実した二時間のショーを無事に終える事ができました。

第三部は場所を移して打ち上げパーティーとなり、各賞の表彰式、交流会を致しました。モデルの方も参加して下さり楽しいパーティーとなりました。

この事業は会員と認定校との技能とセンスの融合した場として、三年毎に開催しているコレクションです。

次世代を担う若い人達に物づく

第5回 NDA Couture Collection 2019



クチュールコレクションフィナーレ

第五回クチュールコレクションに参加して

ソーイングスタジオBUUBU 河野ゆかり

洋裁を初めてまだ一年足らずの私がクチュールコレクションの話聞いたときは、まだ他人事ではありませんでした。作品も数える程しか作っていないのに人前で発表するなんて思ってもいなかったからです。初のランウェイは、足はガクガク頭は真っ白、転ばないように歩くのが精一杯でした。見に来てくれた友人が「あのコートは自分で作ったの?」「ズボンのギャザーはどうすればあのようになるの?」などと興味深く聞いてきました。作ってよかった!と誇らしく嬉しくなりました。

参加された方々の作品は発想豊かなものばかりでした。あれもこれも参考になる作品で私も頑張って作ろうと気持ちが高揚立ってられる思いになりました。沢山の作品を見せて頂きますと想像力が湧き、更に多くの作品を作りたいと思うようになりました。

その為にも、ひとつひとつ技術を身につけて頑張っていきたいと思えます。



検定部の講習会

検定部部长 白井富美子

令和元年6月1・2日の二日間に都立城東職業能力開発センター(綾瀬)に於いて、検定部主催の講習会が行われました。

年々受講生も増え、今年は一級13名、二級14名計27名となり会場の関係もありお断りする人が出ました。

二級を受講する方には二日間で作品の全工程を消化させることを目標とし完成いたしました。

一級は前身頃の半身だけでも二日間ですっかり勉強して頂き、自身で全工程が踏める様に指導し、後日に補講日を確保しました。

講師の先生方もベテランを配し指導をいたしました。

一人でも多くの技能士が誕生する様熱の入った二日間の講習会でした。

補講日は6月6日と8日です、講師の先生方、一級は、千田、高野、佐藤、富澤、白井、二級は石田、馬場、リビ、荒川の9名が担当致しました。



支部
だより

須永正江先生の洋裁技能講習会

テーマ「布と生きる」 宮城県支部 高倉美代子

去る2月24日、本部副会長の須永正江先生を講師にお迎えして恒例の技術講習会を開催致しました。

会場はエルソーラ仙台、大研修室アエルにて行われました。先生が見えられた途端、花が咲いたように会場がパッと明るくなりました。

作品の展示と解説から始まりました。豪華な布地にビーズ刺繍を刺したドレスや書画に精通されている先生が書をしたためた布で仕立てられた粋な衣装等々、華やかで見事な作品に思わず魅入ってしまいました。

昼食タイムは晴れ渡っている仙台市内、太平洋も一望できる眺めの中、お互いの親交を深めました。

午後は先生がこれまで沢山の賞をとられたコンクールの出品作品や、ご家族交流を持たれてきた方々とのスライドショーでした。多くの人々に愛されながら努力を積み重ねてきた事が伺えました。残りの一時間は一枚の布から先生のひらめきでデザインする先生の特技を披露して下さいました。又、ピンワークの実演で会場全員が引き込まれました。

本部からいらっしやった小幡先生やご友人二人をはじめ、県内外から参加された皆様からも作品の技のすばらしさを絶



賛されました。これからも次世代の育成やご自身の勉強も続けて、服作りに邁進していきたいとの先生のお言葉に、自分達も頑張っていかなければとの思いを強くしました。須永先生独自の世界観に触れ、感銘を受けた講習会でした。初めての仙台に早朝からおいで下さり、貴重な講演と講話を頂きました事にお礼申し上げます。

2019 初夏のセミナーのお知らせ

日時 検討中
場所 東京洋服会館3F
ジェントリールホール
研修テーマ 検討中
詳細につきましては後日お知らせします
申し込み・問い合わせ
教育部 日比まで
03(5490)0099

検定部からのお知らせ

令和元年度職業訓練指導員
48時間講習のご案内
受付場所 東京しごとセンター7階
東京職業能力開発センター内
会場 東京しごとセンター他
対象者 1級技能検定合格者
受講料 12,500円
申し込み 検定部 白井まで
024(364)3946

講習期間及び受付日
●定員 1回80名 2回80名
3回35名
受付期間内でも、定員になり次第受付を締め切らせて頂きます。
会場日程は変更となる場合があります。
*各都道府県の職業能力開発協会にお問い合わせ下さい。

回	開講曜日	講習日 (各回計6日間)	受講申請 受付日
第1回	土 日 コース	6/23(日) 6/29(土) 6/30(日) 7/6(土) 7/7(日) 7/13(土)	5/27(月) 5/28(火)
第2回	土 日 コース	9/21(土) 9/28(土) 9/29(日) 10/19(土) 10/20(日) 10/26(土)	8/19(月) 8/20(水)
第3回	平 日 コース	令和2年(2020年) 2/27(木) 2/28(金) 3/2(月) 3/3(火) 3/4(水) 3/5(木)	12/19(木) 12/20(金)

地区だより(大分 湯布院)

本物の洋服に出会う瞬間
生徒作品展&即売会

ソーイングルーム石田 石田きよみ

オーダーの心地良い服と手作りの楽しさを沢山の人の見てほしくて今年も4月4日~7日迄、開催致しました。

湯布院での開催は5回目となりますが今回は販売用に大きいサイズを用意したところ、すぐに完売してしまいオーダーの注文を受けるなどの盛況となりました。全国五輪大会の入賞作品や技能コンクールで入賞した出品参加、生徒作品等を身近に触って見学できるよう展示しましたので洋裁に興味がある方は遠方からも見に来て下さる様になりました。

販売作品も毎年楽しみにしていますという方あり、回を重ねる度に来場者が増えていくのが嬉しい限りです。これからも毛芯仕立てのジャケットやコート等、仕立ての美しい作品も作っていきたいと思います。



REPORT
N.57

第30回技能グランプリ大会に参加して

中西 真波 (神奈川県)

三月二日、三日と神戸にて開催された技能グランプリ大会に出場いたしました。

十二月に発表された課題は、裾のラインと、ポケットにカーブを使った、女性らしいとても素敵なジャケットでした。作る楽しみもありながら、いざ練習に入ってみると、大苦戦。ポケットのおさまりや、薄い毛芯の馴染み、袖を付けた途端にもたつく前身頃……。パターンをいじつてみたり、肩をあげてみたり。色んな試みをしました。

さて、初めてのグランプリ大会は味わったことのない緊迫感に襲われて、手は震え、息もできません。一日目の最後にボディにかけた我が作品は、苦手な部分が顕著に現れ、気持ちも沈んでいました。二日目には、気を取り直して、なんとか縫い上げましたが、まさかの銀賞をいただく結果となり、本当に嬉しく感激いたしました。

ご指導いただいた内野先生をはじめとする諸先生方のお陰で、初めて知る技術を習得するのも楽しくなり、更に上のステージを目指せる機会をいただいた事に深く感謝いたします。

大会は、自分との戦いで本当に厳しく辛いものでしたが、また挑んでみたいと思わせる、不思議な魅力がある戦いの競技です。

更に、精進して経験を積み重ねていきたいと思えます。

井上 栄子 (山口県)

2年前、第29回静岡大会に初めて参加した技能グランプリ、今回で2回目の挑戦です。

2回目なので前回失敗した事を反省しながら練習をしてきたつもりでしたが：今回のグランプリ競技課題は大変むずかかったように思います。

素材は薄手ウール、毛芯もとても薄くて練習を重ねても上手く綺麗に作る事が出来ずに大変苦しかったです。

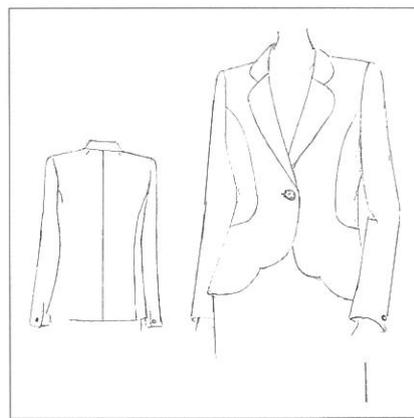
デザインはシンプルでしたが、特にポケット口のスキリ感、前身頃の裾の出来上がりには特に気を遣いました。



今回2か月の練習期間がありました。が、その2か月もあっという間に過ぎてしまいました。

今年の大会は平成最後の技能グランプリで、しかも天皇陛下御在位三十年の記念すべき大会であり、その大会に出場でき、三位に入賞する事が出来たことは大変嬉しい事です。長く洋裁に携わってきた私にとって、「洋裁を続けて来てよかった」と深く思えた瞬間でした。

この貴重な体験を今後に生かして、更に努力を重ね技術の向上を目指して頑張っていくと思えました。



課題スタイル

新入会員

富山千陽子

神奈川県川崎市高津区上作延

536の1の306

鈴木真紀子

茨城県つくば市松代1の30の3

高橋 里子

埼玉県入間市高倉1の7の22



|| NDA ニュース ||

<http://nihonyousou.or.jp/>

令和元年5月10日

2019 全日本洋装技能コンクール
第一回合同委員会

5月19日 技能協会事務所
第64回通常総会・懇親会

5月24日 中野サンプラザ
全技連マイスター会総会

5月30日 KKR東京
東京職業能力開発協会総会
及び40周年記念パーティー

6月1~2日 KKR東京
検定部講習会

6月11日 都立城東職業能力開発センター
(綾瀬) 1級13名・2級14名

6月17日 東京都技能士会連合会総会
KKR東京

6月18日 全国技能士会連合会総会
中央職業能力開発協会総会

7月25~27日 全技連マイスター会東京支部総会
アルカデア市ヶ谷

8月1~10日 ものづくり・匠の技の祭典2019
五反田TOC展示場グランドホール

8月31日 注文服世界大会
イタリア・ヴェローナ

8月31日 初夏のセミナー
東京洋服会館

10月6日 全日本洋装技能コンクール審査会
中野サンプラザ

11月8日 全日本洋装技能コンクール発表会
有楽町朝日ホール(マリオン)

11月15~18日 第57回技能五輪全国大会
(愛知県)

11月26~12月1日 伊賀玲子アトリエ洋裁コレクション
つくば美術館